

製品名: L1CAM ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86683

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:140 kDa; Observed MW:140 kDa

抗原情報

遺伝子名	L1CAM
別名	S10; HSAS; MASA; MIC5; SPG1; CAML1; CD171; HSAS1; N-CAML1; NCAM-L1; N-CAM-L1
遺伝子 ID	3897
SwissProt ID	P32004
免疫原	ヒト L1CAM の組み換えタンパク質

背景

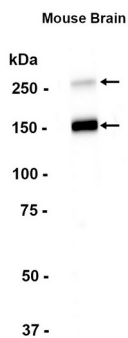
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、免疫グロブリンスーパー遺伝子ファミリーに属する軸索糖タンパク質です。複数の

免疫グロブリン様ドメインとフィブロネクチン様リピート（タイプ III）からなる細胞外ドメインは、単一の膜貫通配列を介して保存された細胞質ドメインに連結されています。この細胞接着分子は、神経細胞の移動と分化を含む神経系の発達において重要な役割を果たします。この遺伝子の変異は、CRASH（脳梁低形成、精神遅滞、失語症、痙性対麻痺、水頭症）として知られる X 連鎖神経症候群を引き起こします。この遺伝子の選択的スプライシングは複数の転写バリエーションをもたらし、その中にはニューロン特異的と考えられる代替エクソンを含むものもあります。[RefSeq 提供、2013 年 5 月]

研究分野

-

画像データ



L1CAM ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス脳組織抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。